

7月20日『シーバード小樽』スタート！

- ◆事業名：シーバード小樽 開所式
- 実施日：2014年7月20日（日）
- 会場：北海道小樽市

7月20日（土）、19か所目の拠点となる「シーバード小樽」が開所しました。

7月20日、小樽港マリーナに隣接する小樽築港臨海公園で開催された“マリン・フェスタ”のオープニングイベントとして、「シーバード小樽」の開所式が行われました。

「シーバード小樽」は、52団体が加盟する「石狩湾マリンレジャー安全協議会」が母体となり、そのレスキュー部会が実務運営を担います。開所式はフェスタの体験乗船会受付テントと並んだ場所で行われ、第一管区小樽海上保安部・土崎次長、同警備救難課・武山係長、交通課・雪松係長、小樽市産業港湾部・貞原参事、日本ライフセービング協会北海道支部上野支部長等が列席、北海道新聞の取材もあって大いに注目を集めました。

「シーバード小樽」の活動は年間20万人が訪れる北国の夏の人気スポットである“おたるドリームビーチ”が主になります。

「海水浴場でのパトロールが主な活動になりますが、今日のような体験プログラムや小樽港マリーナ等とも連携してシーズン前や冬季にも海の安全や水上オートバイの楽しみ、自然環境保護意識の啓発にも取り組んでいきたい」と話すのは、まとめ役の大平拓司さん。大平さんの本業は消防士で、人命を守る、財産を守る、何よりも事故を起こさないための取り組み姿勢は人一倍強くもっています。

「数十隻という数で飲酒走行する水上オートバイがあって、海保には多数の苦情が寄せられていると聞きました。海水浴客の事故ゼロに加えて、官民が協力のうえで安全、マナーの啓発にもシーバードの抑止力が発揮できればと考えます」と展望を話してくれました。



↓「シーバード小樽」の主な活動水域となる“おたるドリームビーチ”。さらに北に向かってサンセットビーチ、銭函海水浴場に続く



拠点となる管理事務所



シーバードジャパンは現在全国19拠点で活動中。
水辺の安全をはじめ、子供たちの水辺教育への貢献など
水上オートバイでの地域貢献活動を目指しています。
8月には20番目となる「シーバード茅ヶ崎」の開所式が予定されています。

シーバードジャパンは
4団体の共同プロジェクトです。



公益財団法人
日本財団

NPO法人
日本青バイ隊

一般社団法人
ウォーターリスクマネジメント

NPO法人
PW安全協会

やさしく乗ろうよ、人も自然も大切に